

事務事業チェックシート

事務事業No **701** 事業名 **姉妹都市交流事業（高等学校）（ベイカースフィールド市、リッチモンド市、済州市との交流）**

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		教育費	
	項		高等学校費	
	目		高) 学校管理費	
	大事業		高等学校費	
事項		姉妹都市交流事業（高等学校）		

[長期総合計画]

分野別目標	3	市民と地域がつくる元気なまち
政策	4	国内外交流の推進
施策	1	国内外交流の推進
基本方針	1	諸外国との交流の推進

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標		
政策		
施策		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
	○			
44の約束				○

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間		～	永年
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	市立和歌山高等学校	山本 昌之 (461-3690)	
関連課	内外交流課・学校教育課		

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		事業内容					
事業概要	和歌山市の国際交流活動の一環である姉妹都市交流事業を通して本校の生徒の国際化を図るため事業		海外姉妹校であるカナダリッチモンド市の学生との交流				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
		カナダ・リッチモンド市国際交流事業リッチモンド市学生訪問団(生徒30人、引率者4人)が5/11～17日和歌山市を訪問。5/14に本校を訪問。 ・歓迎レセプション ・授業、クラブ見学 ・書道体験、家庭クラブ実習体験(いちご大福づくり)	募集を行ったが姉妹都市高へ参加希望する生徒がなかった、	カナダ・リッチモンド市国際交流事業リッチモンド市学生訪問団(生徒31人、引率者4人)が5/11～17日和歌山市を訪問。5/13に本校を訪問。 ・歓迎レセプション ・デザイン授業体験、クラブ体験 剣道部体験・書道体験、家庭クラブ実習体験(いちご大福づくり) 茶道体験			

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
	事業費	140	140	554	0	143	90	0		140	
	伸び率 (%)	-	-	295.7%		-74.2%		-100.0%		-	
	人件費	常勤職員	2,175	2,200	2,200	2,220	2,220	2,186			2,200
		非常勤職員									
		小計	2,175	2,200	2,200	2,220	2,220	2,186			2,200
	国庫支出金										
	県支出金										
	市債										
その他											
一般財源(税等)	140	140	554	0	143	90			140		
所要人数	常勤職員	0.29	0.29	0.30	0.30	0.30	0.29			0.29	
	非常勤職員										
主な予算内訳		消耗品費30千円・食料費113千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	姉妹校との交流の実施回数				年度目標値	1	1	1	0	1
					実績値	1	0	1		
	単位	回	全体目標値		全体目標達成度	年度別達成度	100.0%	0.0%	100.0%	
					年度目標値					
					実績値					
単位		全体目標値		全体目標達成度	年度別達成度					
成果指標	参加者数				年度目標値	40	2	40	0	40
					実績値	40	0	34		
	単位	人	全体目標値		全体目標達成度	年度別達成度	100.0%	0.0%	85.0%	
					年度目標値					
					実績値					
	単位		全体目標値		全体目標達成度	年度別達成度				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○ 達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	交流を通じて、よりお互いの理解を深め多様な文化が共生できるようになったかを評価した。
「見直し」 「改善」案	今後も生徒の国際化をはかる。交流を続けたい。